

上島合併協議会

第5回新町の名称・事務所の位置検討小委員会

会 議 資 料

日 時：平成15年1月23日（木）午後2時10分から
場 所：弓削町総合庁舎 3階第1会議室

第5回新町の名称・事務所の位置検討小委員会会次第

1 . 開 会

2 . 委員長挨拶

3 . 議 事

本庁（管理・事務局部門を置く総合支所）の位置について

..... 1・2 ページ

4 . その他

5 . 閉 会

本庁（管理・事務局部門を置く総合支所）の位置について

- （１） 各町村が本庁（管理・事務局部門を置く総合支所）となった場合のメリットについて、各町村から次項のとおり提出があった。

次頁のとおり

各町村が本庁（管理・事務局部門を置く総合支所）となった場合のメリット比較表

町村名	各町村それぞれのメリットについて	備 考
弓削町	<p>地理的に4ヶ町村の中心に位置している。</p> <p>人口が一番多く、人、物等の流通量が多く中心となるにふさわしい。また、住民に理解を得られやすい。</p> <p>唯一、上島圏域それぞれの町村に直接の航路があり、移動時間が短く、移動費用も安価で住民が集まりやすい。</p> <p>役場職員のみならず議会議員、各種委員等が集まりやすく、移動経費も最小に見込める。</p> <p>管理機能を持つ総合支所とした場合、建物の面積が広く、収容能力もあり増改築等の経費が最小に見込める。</p> <p>唯一、尾道への直接の航路があり、今治市、尾道市と直接交流を図ることができる。</p> <p>唯一、県立高校、国立弓削商船高等専門学校があり、圏域内、外の通学者、下宿者が多く、若者人口の安定化が図られている。</p>	
生名村	<p>生名村は、4ヶ町村のほぼ中央に位置し、経済、文化、医療面等において、4ヶ町村との歴史的つながりの深い因島市に最も隣接し、更に当市を媒体として、上島架橋の完成まで4ヶ町村間の海上交通及び、しまなみ海道利用等の利便性が高く、現在の各町村庁舎の概要からみても、施設の改良は軽微なもので済み、新旧度、議場の広さ等からみて、一応の対応が可能であると思われる。また、総合支所方式での本庁の役割は管理的なものになるとと思われる。したがって、行政事務を行う上で、地理的中央に位置する生名村が均一、且つ素早い事務対応が行えると思われる。</p>	
岩城村	<p>県庁、地方局、法務局、警察署等関係官公署に近い距離にある。</p> <p>造船等の企業が多く将来定住人口の安定化が予想される。</p> <p>今治、越智郡管内の企業成績のベストファイブに2社入っている。</p> <p>将来的に新町は元気な活力のある町としてのイメージが出来る。</p> <p>農漁業、造船関連、精密機械、青果、石材加工等の企業があり、職種の選択肢が幅広く定住人口の確保が予想される。</p> <p>村内の主要3航路が充実しており、しまなみ海道への接続も容易な位置にある（岩城港、長江港、小漕港）</p> <p>しまなみ海道利用による今治市、尾道市へ一番近い距離にある。</p> <p>弓削町、生名村からも村内造船企業などへの通勤者が多い。</p> <p>上島架橋開通後は柑橘などの集荷、出荷体制が岩城村が中心となることが予測される。（JA 関連）</p> <p>1万人未満の町村は近い将来再合併も十分予想されるが、道州制施行以前に今治市や東予地区、周桑、宇摩地域全体を含めた大規模な市町村合併が想定され岩城村が総合市役所や県庁に一番近い位置になる。</p>	
魚島村	<p>人口の増加及び、定住促進が期待できる。</p> <p>離島航路及び町村道の促進を図ることができる。</p> <p>医療・福祉機関の整備向上を図ることができる。</p> <p>水産業振興及びその他の産業開発が期待できる。</p> <p>観光開発と人材交流が期待できる。</p> <p>学校教育・社会教育・生涯教育をさらにすすめることができる。</p>	